

## 急速に広がるEV車

政府は2035年には新車販売の電動化を100%にすると掲げております。  
それに伴い、**充電設備の普及は必須**となっています。  
V2Hシステムを導入することにより、**BCP対策**も可能になります。

### 1、急速充電器と普通充電器

EV車の普及に伴い充電設備の普及も必須になっています。  
事業用途に合わせ、選定を行います。

■急速充電器の出力容量別  
充電速度

充電器の仕様（普通/急速）により  
充電口が異なります



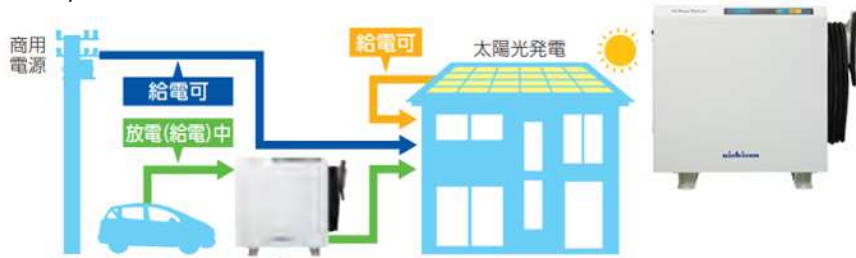
出力	充電速度	電力 入力容量	充電 時間	計算式
50kW	16倍	15倍	約40分	30kWh÷50kW=約0.6時間
35kW	11倍	10倍	約50分	30kWh÷35kW=約0.86時間
25kW	8倍	7.5倍	約1.2時間	30kWh÷25kW=約1.2時間
25kW(単相入力)	8倍	7.5倍		
10kW	3倍	3倍	約3時間	30kWh÷10kW=約3時間
10kW(単相入力)				
普通充電器	1	1	約10時間	30kWh÷3kW=約10時間



### 2、V2H（Vehicle to Home）システム

EV車の**大容量バッテリーの電力**を利用し、家庭内や事務所などの電力として使用できる仕組み。

急速/普通充電とは違い、**充放電（双方向）**が可能です。



## 納入事例



急速充電器



V2Hシステム

## 普通充電器



壁掛型



自立型